

○海外研修

本市が中学生の海外研修を始めて3回目になります。本年度は7月25日から3泊4日で中国南寧市第14中学校訪問、8月20日から3泊4日でシンガポール・ナンファ中学校を訪問し、たくさんの方を学びました。



中国国際交流に参加して
小川中学校3年 金城 優唯



私が今回中国研修に参加しようと思った理由は三つあります。一つ目は、中国はとも日本に近く、関わりが深い国だからです。二つ目は、よくニュースなどで中国の話題があるので、もっと中国のことを知りたいと思ったからです。最後の理由は、この国際交流で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思ったからです。

中国に行く前は、あまり中国語の勉強をしておらず、ちゃんとコミュニケーションがとれるか心配でした。でも、実際に行ってみると、中国の方から英語でたくさん話しかけて下さったので、コミュニケーションをとることができました。一番驚いたのは、日本と比べて道路にはバイクが多く、人があふれていたことです。しかも、車とバイクの間を人がすれすれに歩いていてとてもびっくりしました。3泊4日の滞在でしたが、1日目のホテルでは他の中学校の人と



今回の研修で学んだことをこれからの学校生活に生かし、さらに交流の場を広げていきたいと思っています。

初めての国際交流
松橋中学校1年 中尾 桜子



「世界への第一歩」、私が、このシンガポール研修に参加申し込みをしたきっかけは、今年のミス・ユニバースで世界1位になられた森理世さんが、「日本の女の子にもっと世界を見てほしい」とコメントされていたのを偶然耳にしたからでした。初めての飛行機、初めての海外は、とても楽しみで、ワクワクするばかりでしたが、私の英語がはたして通じるのか？と不安もありました。

シンガポールは、高層ビルが立ち並び、とてもきれいな街でした。環境美化にとっても厳しい国で、罰金制度もあると聞いていましたが、確かにゴミは保って国民全体で国の美しさを保っていることは本当に素晴らしいと思いました。

不安に思っていた英会話も、一緒に行った皆と楽しくやっていたうちに、知っている単語にジェスチャーを付けて積極的に話しかけられるようになっていきました。また、現地でのガイドのジャスミンさんは、面白くて、とても優しい人で「シンガポールのお母さん」と呼ぶにふさわしい人でした。

現時点での成果と課題

学校教育の大きな柱の一つとして取り組んでいる国際理解教育特区の本格導入から1年半になります。各種アンケートの結果から成果と課題についてまとめました。当初の目標達成のため、今後も取り組みを強化していきます。

成果

- 外国についての関心が高まり、英会話、中国語の学習意欲が高まっている。
- 英会話科の学習が他の教科に良い影響を及ぼしている。
- コミュニケーション能力が少しずつ向上している。
- 地域の伝統、食文化に対する学びの意欲が感じられる。
- 中国、シンガポールでの研修が外国語学習の意欲向上につながっている。
- 保護者の国際理解教育への関心と理解の高まりが見える。

課題

- 小学校教諭の英会話研修の充実
- 中学校における英会話科教材の開発
- 伝統食文化学習における地域人材の活用

宇城市の教育ニュース①

松橋小学校が文部科学大臣賞受賞

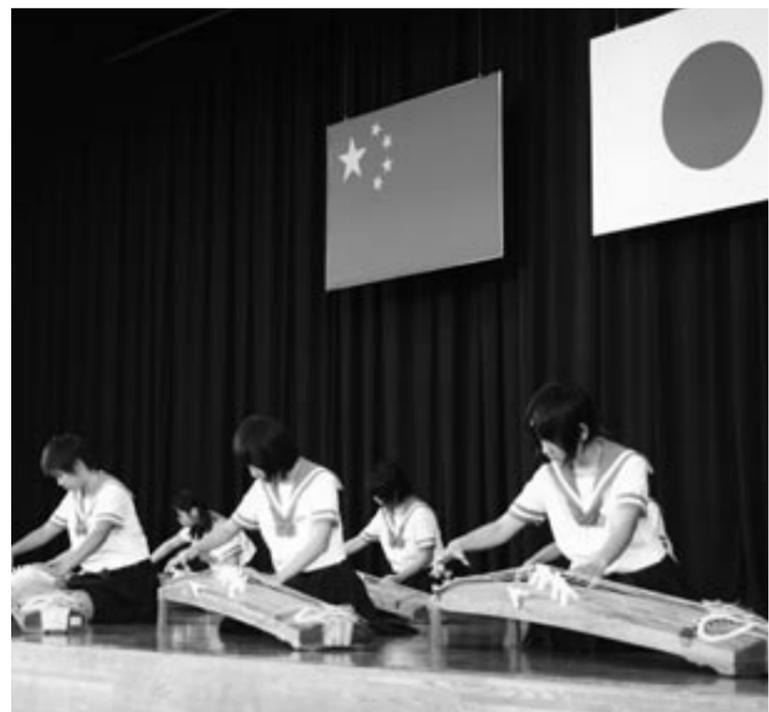
第23回教育奨励賞（文部科学省後援）の優秀賞と文部科学大臣奨励賞が宇城市立松橋小学校に授与されることになりました。松橋小学校は、児童の「話す・聞く」能力の向上を目指し、2003年度から週2回の「お話道場」、国語の授業中に行う「2人対話」などを実施しています。審査では「話すことへの苦手意識がなくなるなど、確かな成果が出ている」「思考力が伸び、国語だけでなく他教科の学力向上にもつながっている」と高い評価を得ました。

○中学校の選択教科で中国語の学習内容

中学校では選択教科に「中国語」を導入、現在、中学校5校で250人余りの生徒が履修しています。中国語や中国文化への興味関心を高める活動を通して、中国語によるコミュニケーション能力の基礎を養うとともに、創造性・国際性に富んだ人材の育成を図っています。

「中国語」学習内容

学年	学習段階	学習内容
中1	第1段階 (楽しむ)	あいさつの仕方、身近な物の中国語(色、スポーツ、動物など)、中国語の歌
中2	第2段階 (慣れる)	第1段階に加え、中国の文化や暮らし
中3	第3段階 (親しむ)	第1段階に加え、中国の習慣や考え



伝統・食文化の学習内容と学習分野

学習内容	学習分野
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統・食文化に関する体験や調べ学習 ● 食文化に関しての地産地消の学習 ● 日本の文化、熊本の文化、宇城市の文化に関する学習 ● 外国の文化を日本の文化と比較することにより理解する学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統学問 ● 伝統技術 ● 伝統的建築史跡 ● 伝統芸術 ● 伝統行事伝統遊び ● 伝統食文化 ● 海外の文化